

第66期 中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日





代表取締役社長

英 裕 治

Hanabusa Yuji

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2013年9月30日をもちまして、第66期(2013年4月1日から2014年3月31日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景として円高是正や株価上昇が進み、景気は緩やかに回復しつつあります。一方で世界経済は、全体的には弱い回復が続いているものの、中国やその他新興国経済の先行きや、欧州政府債務問題の影響により景気下振れリスクも存在し、先行きは依然不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは前期において光ディスクドライブ事業の改革を終え、業績の安定化から成長への転換期という折り返し点にあります。しかしながら、当第2四半期(3ヶ月)では営業

黒字化し、前年同期と比較して業績は改善したものの、第1四半期において営業損失が前年同期を上回ったことから、当中間連結会計期間における売上高は97億8千8百万円（前年同期比0.9%増）とほぼ同額となりましたが、営業損失は5億9千4百万円（前年同期営業損失4億6千9百万円）、経常損失は8億8千1百万円（前年同期経常損失6億1百万円）となりました。

また、第1四半期に計上した米国販売子会社での特別退職金等の計上により、中間純損失は13億8百万円（前年同期中間純損失7億4千6百万円）と、赤字幅は拡大いたしました。

通期の業績見通しについて

当社は、2012年1月に締結したオンキヨー株式会社との業務提携をさらに推進し、コンシューマオーディオ事業を中心とした収益拡大と、全社的な業績の向上

を目指してまいります。

また、2013年5月9日に当社親会社となりましたGibson Brands, Inc.との資本・業務提携内容に沿い、プロフェッショナルオーディオ事業を中心として収益拡大を目指してまいり所存であり、2014年3月期の連結売上高は245億円、営業利益10億円、経常利益6億円、当期純利益3億円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

当社は、おかげさまで本年8月をもちまして創立60周年を迎えることができました。

あらためて株主の皆様のご支援とご愛顧に感謝するとともに、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

連結業績ハイライト

		第63期 2011年3月期	第64期 2012年3月期	第65期 2013年3月期	第65期(中間) 2012年9月期	第66期(当中間) 2013年9月期
売上高	(百万円)	36,867	26,696	22,236	9,704	9,788
営業利益	(百万円)	1,003	338	693	△469	△594
経常利益	(百万円)	348	19	351	△601	△881
当期純利益	(百万円)	△1,303	89	△323	△746	△1,308
1株当たり当期純利益	(円)	△4.52	0.31	△1.12	△2.59	△4.54
総資産	(百万円)	21,289	19,637	19,619	17,892	17,683
純資産	(百万円)	3,824	3,790	4,243	2,431	3,087

セグメント別売上高および構成比率

音響機器事業

55.7%

売上高 5,453 百万円
(前年同期比 6.5%増)

- 高級 AV 機器
- 一般 AV 機器
- 音楽制作オーディオ機器
- 特殊イヤホン機器

オリジナルブランド

ESOTERIC

TEAC

TASCAM

情報機器事業

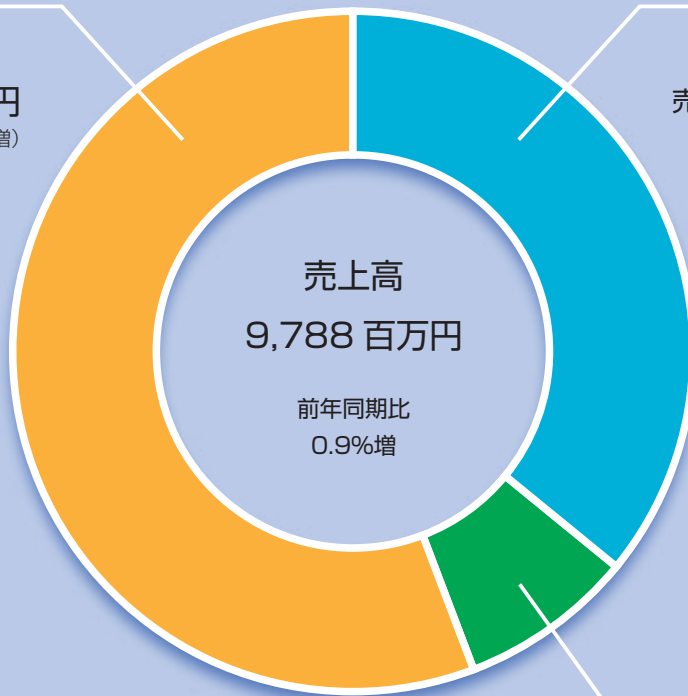
36.3%

売上高 3,552 百万円
(前年同期比 12.7%減)

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録機器
- 計測機器
トランスデューサー
データレコーダー
- 通話録音機器
- ソリューションビジネス
- 介護支援個別ケアシステム
- ディスクパブリッシング機器
- 民生用 および
産業用製品向けドライブ

オリジナルブランド

TEAC



その他事業

8.0%

売上高 782 百万円
(前年同期比 51.8%増)

- EMS 事業

音響機器事業

TASCAM



放送業務仕様の4チャンネルレコーダー/プレーヤー

売上高 5,453 百万円
(前年同期比 6.5%増)

営業損失 △ 520 百万円
(前年同期営業損失△ 58 百万円)

高級AV機器（ESOTERICブランド）は、スーパーオーディオCDプレーヤーの上位モデル販売が年数経過により販売減となりました。

一般AV機器（TEACブランド）は、北米、欧州の販売が景気停滞の影響で伸び悩みましたが、日本国内やアジア諸国でのPCオーディオ製品の販売が好調に推移しました。

音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、概ね世界的に堅調に販売が継続、国内の放送機器販売も好調に推移しました。

この結果、音響機器事業全体では、前年同期と比較して増収となりましたが、音楽制作オーディオ機器を主要事業と位置づけ、将来の事業拡大のために人的投資をより集中した結果、前年同期と比較して営業損失は拡大しました。

情報機器事業

TEAC



ワイドバンドデータレコーダー

売上高 3,552 百万円
(前年同期比 12.7%減)

営業損失 △ 115 百万円
(前年同期営業損失△ 412 百万円)

航空機搭載記録再生機器は、米国向け製品の販売が大きく伸張したことで、ストックビジネスである保守パーツ販売が堅調に推移したことから増収となりました。

計測機器はデータレコーダーの販売が堅調であったものの、センサーは半導体業界の回復が見えず不調に終わりました。

医用画像記録機器はOEM販売の落込みを自社ブランド製品の販売で挽回できず減収となりました。

通話録音機器は、大型プロジェクトの下期への延伸などにより減収となりましたが、ソリューションビジネスは増収となりました。

光ディスクドライブは、PC向けOEM販売から撤退したことにより、売上高は減少しましたが、利益率の高い産業用ドライブの販売が好調に推移したことで販管費の削減により黒字化しました。

この結果、情報機器事業全体では、光ディスクドライブの売上減少により、前年同期と比較して減収となりましたが、赤字幅は縮小しました。

中間連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	当中間期 2013年9月30日現在	前期 2013年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	13,213	15,001
現金及び預金	3,638	4,422
受取手形及び売掛金	3,733	5,252
商品及び製品	3,979	3,381
原材料及び貯蔵品	1,219	1,262
前払費用	239	244
繰延税金資産	237	356
その他	258	180
貸倒引当金	△ 92	△ 98
固定資産	4,470	4,618
有形固定資産	2,653	2,613
無形固定資産	425	426
投資その他の資産	1,392	1,578
資産合計	17,683	19,619

	当中間期 2013年9月30日現在	前期 2013年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	7,578	8,265
支払手形及び買掛金	1,469	1,521
短期借入金	4,000	4,468
1年内返済予定の長期借入金	66	30
リース債務	39	30
未払金	336	287
未払費用	1,038	1,200
未払法人税等	42	45
賞与引当金	251	252
製品保証引当金	136	163
返品調整引当金	61	95
事業構造改善引当金	9	9
その他	125	160
固定負債	7,017	7,110
負債合計	14,596	15,375
■ 純資産の部		
株主資本	6,825	8,134
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	306	306
利益剰余金	627	1,935
自己株式	△ 108	△ 107
その他の包括利益累計額	△ 3,789	△ 3,949
少数株主持分	50	58
純資産合計	3,087	4,243
負債及び純資産合計	17,683	19,619

Point 1 中間連結貸借対照表

<総資産>

シンジケートローンへの借り換えによる借入金圧縮に伴い現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の回収による減少などにより、前期末に比べ1,935百万円減少しました。

<純資産>

中間純損失の計上による利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ1,156百万円減少しました。

Point 2 中間連結損益計算書

<中間純利益>

シンジケートローンへの借り換えに伴う費用を一括で営業外費用に、米国販売子会社の人員削減に伴う特別退職金を特別損失に、繰延税金資産の一部取崩しに伴う法人税等調整額の計上などにより、中間純損失1,308百万円となりました。

Point 3 中間連結キャッシュ・フロー計算書

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

主な内訳は、プラス要因として回収に伴う売上債権の減少額1,619百万円、マイナス要因としては税金等調整前中間純損失1,149百万円、たな卸資産の増加額413百万円であります。

中間連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当中間期	前中間期
	2013年4月1日～ 2013年9月30日	2012年4月1日～ 2012年9月30日
売上高	9,788	9,704
売上原価	5,830	5,810
売上総利益	3,958	3,894
販売費及び一般管理費	4,553	4,363
営業損失 (△)	△ 594	△ 469
営業外収益	94	74
営業外費用	381	207
経常損失 (△)	△ 881	△ 601
特別利益	34	0
特別損失	302	175
税金等調整前中間純損失 (△)	△ 1,149	△ 777
法人税、住民税及び事業税	53	△ 30
過年度法人税等	10	16
法人税等調整額	102	△ 17
少数株主損益調整前 中間純損失 (△)	△ 1,315	△ 746
少数株主損失 (△)	△ 7	—
中間純損失 (△)	△ 1,308	△ 746

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当中間期	前中間期
	2013年4月1日～ 2013年9月30日	2012年4月1日～ 2012年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 119	418
投資活動による キャッシュ・フロー	629	△ 83
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 604	△ 19
現金及び現金同等物に 係る換算差額	40	△ 157
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 54	157
現金及び現金同等物 期首残高	3,608	4,181
現金及び現金同等物 中間期末残高	3,553	4,338

中間連結株主資本等変動計算書 (2013年4月1日～2013年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券 評 価 差 額 金	為替換 算 調 整 勘 定	その 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	6,000	306	1,935	△ 107	8,134	50	△ 4,000	△ 3,949	58	4,243
中間連結会計期間中の変動額										
中間純損失 (△)			△ 1,308		△ 1,308					△ 1,308
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)						△ 114	274	160	△ 7	152
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 1,308	△ 0	△ 1,308	△ 114	274	160	△ 7	△ 1,156
当中間期末残高	6,000	306	627	△ 108	6,825	△ 64	△ 3,725	△ 3,789	50	3,087

中間貸借対照表 (要約) (当中間期 2013年9月30日 現在)

(単位: 百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	9,006	流動負債	9,795
現金及び預金	2,738	支払手形	393
受取手形	143	買掛金	750
売掛金	3,831	短期借入金	7,574
商品	2,361	1年内返済予定の長期借入金	66
原材料	451	リース債務	26
前払費用	115	未払金	253
関係会社短期貸付金	141	未払費用	313
未収入金	404	未払法人税等	27
貸倒引当金	△ 1,182	預り金	66
固定資産	13,190	賞与引当金	173
有形固定資産	1,833	製品保証引当金	75
無形固定資産	62	返品調整引当金	36
投資その他の資産	11,295	事業構造改善引当金	9
資産合計	22,197	その他	27
		固定負債	6,789
		負債合計	16,584
		純資産の部	
		株主資本	5,676
		資本金	6,000
		資本剰余金	306
		利益剰余金	△ 522
		自己株式	△ 108
		評価・換算差額等	△ 64
		純資産合計	5,612
		負債及び純資産合計	22,197

中間損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当中間期 2013年4月1日～ 2013年9月30日
売上高	6,962
売上原価	4,246
返品調整引当金戻入額	17
売上総利益	2,733
販売費及び一般管理費	3,241
営業損失 (△)	△ 507
営業外収益	134
営業外費用	198
経常損失 (△)	△ 572
特別利益	32
特別損失	132
税引前中間純損失 (△)	△ 671
法人税、住民税及び事業税	△ 12
法人税等調整額	102
中間純損失 (△)	△ 761

中間株主資本等変動計算書 (2013年4月1日～2013年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	
		その他 資本剰余金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
当期首残高	6,000	306	239	△ 107	6,438	50	6,489
中間会計期間中の変動額							
中間純損失 (△)			△ 761		△ 761		△ 761
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)						△ 114	△ 114
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△ 761	△ 0	△ 762	△ 114	△ 876
当中間期末残高	6,000	306	△ 522	△ 108	5,676	△ 64	5,612

新製品

EGOTERIC

グランディオーンと言う名の新たなフラッグシップモデルが誕生

エソテリックから最新のフラッグシップモデルとなる「Grandioso」(グランディオーン)シリーズとして、スーパーオーディオCDトランスポート【P-1】、モノブロックD/Aコンバーター【D-1】、モノブロック・パワーアンプ【M-1】の3モデルを2013年11月より発売開始しました。Grandiosoは、「壮大な」、「堂々とした」を意味する音楽用語であり、エソテリックのすべての英知と技術が結実しています。



Grandioso D1
Monoblock D/A Converter

Grandioso P1
Super Audio CD Transport

Grandioso M1
Monoblock Amplifier

11月2日から4日にかけて東京国際フォーラムで開催された2013東京国際オーディオショウに出展し、発売前から国内外でのプロモーションを展開しています。

あの頃の音楽を、ご家族とともにもう一度

3スピード対応のターンテーブルによるアナログレコード再生、CD再生、AM/FMラジオの受信に加え、Bluetooth®レシーバーを搭載し複数のメディアに対応したレトロモダンなデザインのステレオシステムを2013年11月より発売開始しました。

大切に保管されているアナログレコードも、スマートホンに保存されているMP3/WMAファイルも再生することができ、親子三代にわたってそれぞれの好きな音楽をお楽しみいただけます。

TEAC

新製品

Bluetooth®/CD/Radio 搭載 ターンテーブルステレオシステム
LP-P1000



■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
 設立 1953年8月26日
 資本金 60億円
 事業年度 4月1日～翌年3月31日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 343名 連結 1,135名

国内拠点

ティアック株式会社

本社 [東京都]

EMC センター [埼玉県]

大阪営業所 [大阪府]

名古屋営業所 [三重県]

エソテリック株式会社 [東京都]

ティアック マニュファクチャリング ソリューションズ株式会社 [東京都]

MTS 株式会社 [埼玉県]

ティアック オンキヨー ソリューションズ株式会社 [東京都]

デジタル・アコースティック株式会社 [大阪府] ※

海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]

TEAC MEXICO, S.A. de C.V. [メキシコ]

TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]

TEAC UK LTD. [英国]

TAIWAN TEAC CORPORATION [台湾]

TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]

TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]

DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

Onkyo Europe Electronics GmbH [ドイツ] ※

※ 持分法適用関連会社

■ 役員

代表取締役社長	英 裕治
取締役	野村 佳秀
取締役	Henry E. Juskiewicz
取締役	David Berryman
取締役	Solomon Picciotto
取締役	大 舘 宗 徳
常勤監査役	牧 野 信 明
監査役	原 琢 己
監査役	坂 口 洋 二

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp/>

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	289,317,134株
株主数	14,320名

大株主

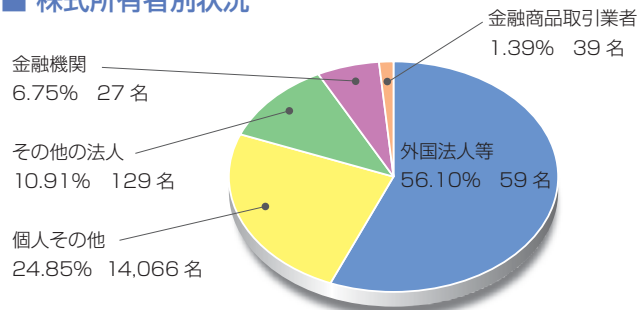
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	157,447	54.42
オンキヨー株式会社	28,932	10.00
日本証券金融株式会社	3,823	1.32
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.18
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
明治安田生命保険相互会社	1,541	0.53
ティアック取引先持株会	1,461	0.50
株式会社損害保険ジャパン	1,342	0.46
株式会社相川プレス工業	1,240	0.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口6)	945	0.32
森兼 満	945	0.32

(注) 上記のほか、当社は自己株式995千株を保有しております。

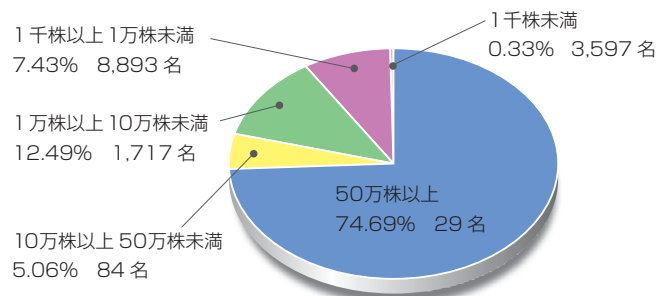
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う。
公告掲載URL	http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html (ただし、やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に公告します。)

株式所有者別状況



株式所有数別状況



【株式事務に関するご案内】

1. 各種お手続きのお問合せ窓口について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式（1,000株に満たない株式）の買取請求のご案内

単元未満株式（1,000株に満たない株式）については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却をしていただくことができます。

当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料（注）としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。

（注）無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

<例：株主様が100株をご所有の場合>



- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様（証券会社等にお取引口座がない株主様）
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（TEL 0120-232-711〈通話料無料〉）にお問合せください。

- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- “DSD”は登録商標です。
- Bluetooth®のフードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ティアック株式会社は本マークをライセンスに基づいて使用しています。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100（代表）
ホームページアドレス <http://www.teac.co.jp>

